

側頭骨は頭蓋の外側壁をなす左右 1 対の骨 3つの部分の① ()・② ()・③ () からなる。
① () は頬骨と結合するための () が伸びて、 () の後半部をなす。頬骨突起の基部下面には () がある。
② () は外耳道および鼓室の底をなす。
③ () は③a () と③b () からなる。
③a () は後頭骨と蝶形骨大翼との間を内側前方に伸び、上面は内頭蓋底の () となって隆起して中頭蓋窩と後頭蓋窩を仕切る。 表面には () が開き、内部に内耳をおさめるほか、() が貫通する。
③b () は錐体部の外側下方に大きく膨隆して、鱗部の後方に達し、 側頭骨外面で () をつくる。内部には鼓室から続く () という 多数の小胞が広がる。さらに、岩様部の下面からは、下前方に () が伸びる。 その基部には () が開く。
外耳孔を入り、外耳道を通ると () に突き当たる。 鼓室は中耳の主体をなし、3 個の耳小骨 (ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨) が並ぶ。 鼓室の前方は () に、後方は () に続く。 鼓室の壁の奥には、内耳が存在する。

上顎骨 209・下顎骨 209

上顎骨の 4 つ突起は ()・() ()・() である。
下顎骨の 2 つの突起は ()・() である。

蝶形骨 206

<p>蝶形骨は頭蓋腔の中央に位置する骨 蝶形骨の中央部→（ ）という。蝶形骨体の上面には（ ）がある。蝶形骨体の前方は後鼻孔の上縁をなし、体の内部には鼻腔と連絡する1対の（ ）がある。蝶形骨体の後方は後頭骨と結合し（ ）を構成する。</p>
<p>蝶形骨体の両脇からは、左右1対の（ ）と（ ）が伸びる。</p>
<p>小翼は前頭蓋窩の後縁をなし、基部には（ ）が開く。</p>
<p>大翼は中頭蓋窩の主体である。大翼は小翼よりも下方に位置するので、小翼との間に（ ）が開く。また、大翼には（ ）・（ ）・（ ）が開く。下方にも1対の（ ）が伸びる。（ ）は鼻腔の外側壁の後方部をつくり、翼状突起の基部には（ ）が開く。</p>

後頭骨 205、206

<p>後頭骨の後方にある円盤状の部分は（ ）という。</p>
<p>上縁はラムダ縫合によって頭頂骨と接する。この部分の外側中央には（ ）がある。体表から触れる。また内面には十字の隆起があり、中央を（ ）という。</p>
<p>前方中央の四角い部分は後頭骨の底部であり、蝶形骨と軟骨結合して（ ）とつくる。（ ）の後方では（ ）が開く。（ ）の外側部は側頭骨と接し、その会合部に（ ）ができる。</p>
<p>外側部の下面には、1対の（ ）が盛り上がり、その基部を（ ）が貫く。</p>

<p>環椎後頭関節 174</p>	頭	後頭骨の（ ）	形状	楕円関節
	窩	環椎の上関節面	軸	2軸性関節（屈伸・側屈）

下顎骨 209

<p>下顎骨は歯の並ぶ（ ）と後上方に伸びる（ ）よりなる。</p>
<p>下顎体の上縁は歯が並ぶ（ ）である。また下顎体の前端は（ ）と呼ばれ、体表上の目印になる。オトガイ正中部の高まりを（ ）という。オトガイの両脇には（ ）が開く。</p>
<p>下顎枝の上端は後方の（ ）と前方の（ ）の2つに分かれる関節突起は（ ）として先端が丸くなり、側頭骨の下顎窩にはまって（ ）を形成する。筋突起は咀嚼筋（側頭筋の停止）の付着部になる。下顎枝の内面には（ ）が開き、下顎孔から下顎体の中にかけて（ ）が続いてオトガイ孔に出る。下顎体から下顎枝への移行部の下端は突出して、（ ）といい、体表からよく触れる。</p>

関節の部位と種類について P. 162～ はき 2-17

NO	関節名	種類 (形状)
1	仙腸関節	
2	腕橈関節	
3	下橈尺関節	
4	肩関節	

解剖学 骨学の記述問題 (はき 3 回)

膜内骨化によって形成される骨について P. 19 198 はき 3-16

頭蓋冠をつくる骨は () に属し、胎生時に () によって発生する。膜内骨化では頭蓋骨のような扁平な骨がつくられ、脳などの臓器を外からおおうところから、付加骨(被蓋骨)という。

大坐骨孔について P. 48 188 189 285 はき 3-17

- ・坐骨棘と仙骨・尾骨の間に張る () と () によって、
- ・大坐骨切痕は大坐骨孔、小坐骨切痕は小坐骨孔になる。
- ・大坐骨切痕は () と () とによって形成される。
- ・ () が大坐骨孔を通過することで () と () の2孔に分けられる。
- ・梨状筋上孔を通るのは () 神経および () 動・静脈
- ・梨状筋下孔を通るのは () 神経 () 神経 () 神経 () 神経および () 動・静脈・ () 動・静脈である。

胸腔について P. はき 3-32

胸腔の形成には () と () と () と () が関与する。

内頭蓋底について P. 199 はき 4-16

頭蓋腔の内面より見たのが ()
頭蓋を下面より見たのが () である。
内頭蓋底の中央部では前方から
()・()・()・() が 1 列に並び、
蝶形骨と後頭骨の間に割り込むように左右の () が位置する。

骨とその部位について P. はき 4-17

- 1. 仙骨 ——— 岬角
- 2. 大腿骨 ——— 殿筋粗面
- 3. 腰椎 ——— 肋骨突起
- ×4. 下顎骨 ——— 下顎窩は () にある。

脳神経と通路について P. はき 4-28

- 1. 視神経 ——— 視神経管
- 2. 動眼神経 ——— 上眼窩裂
- ×3. 滑車神経は上眼窩裂を通る。 ——— 卵円孔は () を通す。
- 4. 上顎神経 ——— 正円孔

最も大きい椎体をもつ椎骨について P. はき 5-16

最も大きい椎体をもつ椎骨は () である。

各関節について P. 162 163 はき 6-16

橈骨輪状靭帯を有する関節は () である。
関節唇を有する関節は ()・() である。
関節円板を有する関節は ()・()・()・() である。
関節半月を有する関節は () である。

体表から触れる。触れない について P. はき 6-32

ランドマーク (体表から触れる)

頭 部	外後頭隆起、上項線、下項線、乳様突起
頸 部	棘突起、横突起
肩甲骨	肩甲棘、内側縁、下角、外側縁、肩峰、烏口突起、上角
上腕骨	大結節、小結節、外側上顆、内側上顆、結節間溝
前 腕	橈骨頭、橈骨茎状突起、肘頭、尺骨茎状突起
手根骨以下	各手根骨、中手骨、指節骨
骨 盤	腸骨稜、上前腸骨棘、下前腸骨棘、上後腸骨棘、坐骨結節、仙骨外側縁
大腿骨	大転子、小転子、転子間稜、外側上顆、内側上顆、内転筋結節
膝蓋骨	膝蓋骨底、膝蓋骨尖
下 腿	腓骨頭、脛骨粗面、脛骨前縁、外果、内果
足根骨以下	各足根骨、中足骨、指節骨

胸腔について P. はき 7-16

胸腔の形成には () と () と () と () が関与する。

境界線について P. 31 はき 7-17

1	頭と顔	鼻根—眉—外耳孔を結ぶ線
2	顔と頸	下顎骨下縁—乳様突起—外後頭隆起を結ぶ線
3	頸と胸	胸骨上縁—鎖骨上縁—肩峰—第7頸椎(隆椎)棘突起を結ぶ線
4	胸と腹	胸骨下端—肋骨弓—第12胸椎棘突起を結ぶ線
5	上肢	三角(筋大)胸筋溝—三角筋の起始縁—腋窩を結ぶ線で、上肢は体幹から区別される
6	下肢	鼠径溝—上前腸骨棘—腸骨稜—尾骨—殿裂—陰部大腿溝を結ぶ線で、上肢は体幹から区別される。

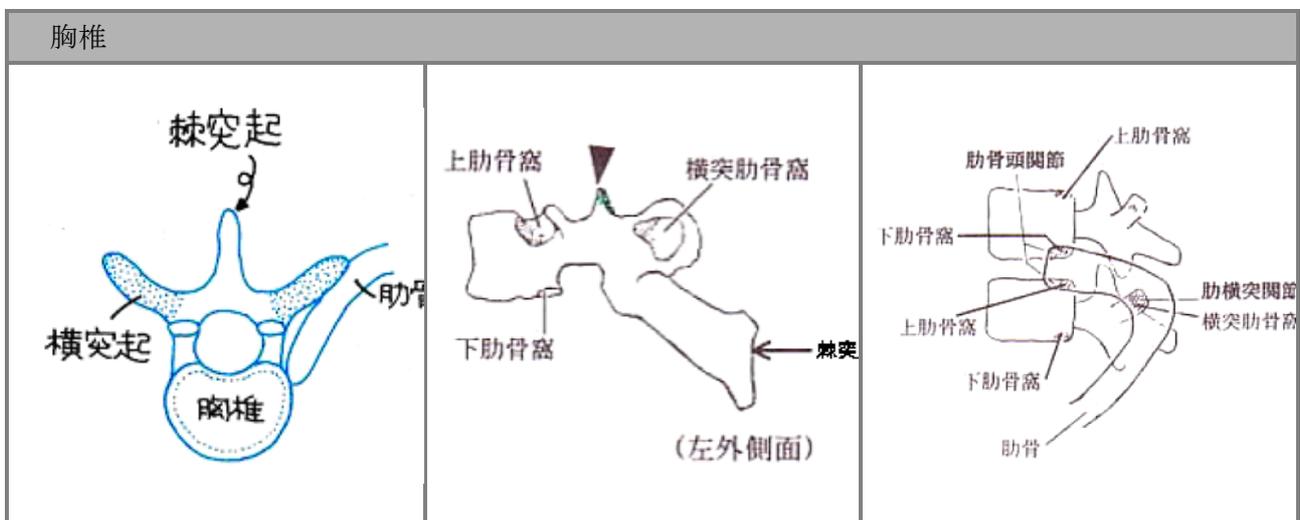
解剖学 骨学の記述問題 (はき 8回)

長骨の構造について P. 17 はき 8-16

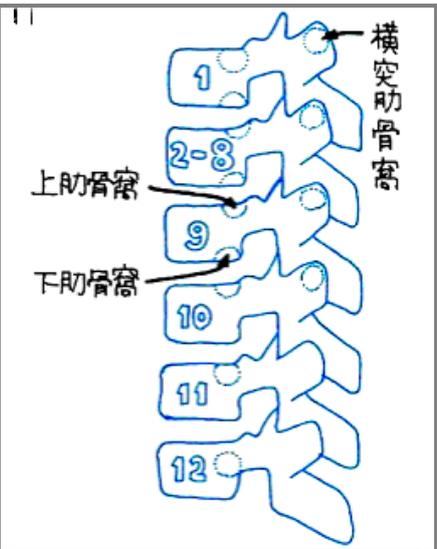
1. 海綿質は () 部にみられる。
2. フォルクマン管は骨の長軸に () に走行する。
3. ハバース管には () が走行する。
4. 骨小腔は () で満たされる。

胸椎の関節面について P. 174 はき 8-17

- 第1~9胸椎の関節面は () つ
 第10胸椎の関節面は () つ
 第11・12胸椎の関節面は () つ



- 椎骨のうち最も典型的な形態をもつ
 - 棘突起は下方に突出する
 - [] と [] をもつ
- 肋骨との関節は、椎体外側面の後方にある [] と横突起の先端である [] で行う。
- 椎体に連結する肋骨の肋骨頭は椎間円板を挟んでさらに 1 つの上位の椎体にまで拡大して付着するので肋骨窩は [] と [] に分かれる。
- 第 1-9 胸椎は上肋骨窩・下肋骨窩・横突肋骨窩を有し、
 → 第 10 胸椎は上肋骨窩・横突肋骨窩を有し、
 → 第 11・12 胸椎は肋骨窩を有する。



正中環軸関節の運動様式について P. 174 はき 8-18

正中環軸関節	形状の分類		運動軸
	関節頭		
	関節窩		
	歯突起を運動軸として環椎を横回旋する [] である。頭蓋骨と環椎とを一括して左右に回旋する。この運動で歯突起が後方にずれないように、環椎の椎孔内は [] が張っている。この靭帯は歯突起を後方から十字形に交叉しておお 2 つの靭帯は [] と [] よりなる。		

外側環軸関節 174	頭	環椎の ()	形状	平面関節
	窩	軸椎の上関節面	軸	? 軸性関節

解剖学 骨学の記述問題 (はき 9 回)

頸静脈孔について P. 202 206 はき 9-32

頸静脈孔は後頭骨(大後頭孔)外側部の()と接し、その会合部にできる孔である。
()・()・()と通す。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 10 回)

骨学総論 P. はき 10-16

1. 輪状軟骨は第()椎の高さにある。
2. 胸骨角の部位に第()骨が付く。
3. 胸郭の下縁を通る水平面には第()椎間の椎間板がある。174 177 178
4. ヤコビー線は第()椎の棘突起間を通る。

骨学総論 P. 16~19 はき 10-17

1. 骨端軟骨は()である。
2. 頭頂骨は()骨化をする。
3. ()骨髄は脂肪組織である。
4. 骨膜は()結合組織である。

外頭蓋底について P. 199 はき 10-18

頭蓋腔の内面より見たのが()
頭蓋を下面より見たのが()である。
外頭蓋底は()・()・()・()・()・
() ()・()・()で構成される。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 11 回)

リスフラン関節について P. 196 はき 11-18

リスフラン関節(足根中足関節)は
()・()・()で構成される

手根骨について P. 183 はき 12-16

手根骨は近位列の橈側から
 ()・()・()・()で構成される。

→近位列の3骨 ()・()・()は橈骨の手根関節面と
 ()を形成する。

遠位列の橈側は
 ()・()・()・()で構成される。

→遠位列の手根骨は中手骨と ()をなす。

ラセン関節について P. 163 はき 12-17

ラセン関節は () 関節の変形で () 軸性の関節
 () が代表的な関節である。

大坐骨孔について P. 48 188 285 はき 12-18

大坐骨孔= () と () 靭帯がメインで形成される孔である。

大坐骨孔を通るものは ① () と 梨状筋上孔と梨状筋下孔が通るものである。

梨状筋上孔を通るもの () および () が通る。

梨状筋下孔を通るもの

()・()・()・() および
 ()・() が通る。

梨状筋下孔を出た () および () は

() とともに小坐骨孔を通る。

小坐骨孔= () と () 靭帯と () 靭帯で形成される孔
 である。

頸静脈孔について P. 202 206 はき 13-31

頸静脈孔は後頭骨 (大後頭孔) 外側部の () と接し、その会合部にできる孔である。
 ()・()・() と通す。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 14 回)

球関節について P. 162 はき 14-15

球関節は () 関節
 人体の代表的な関節は ()・()・() である。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 15 回)

下顎骨について P. 209 はき 15-18

下顎窩は () にある。
 下顎骨の2つの突起 () と ()
 下顎の付く名称
 ()・()・()・()・()

胸椎について P. 169 174 177 はき 15-19

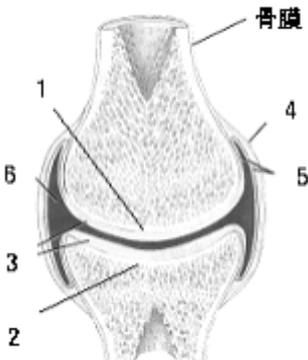
胸椎の特徴は肋骨と関節するために ()・() がある。
 () は上下に分かれる。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 16 回)

滑膜性の連結について P. 162 19 はき 16-17

滑膜性の連結は、一般に関節と呼ばれる連結をさす。
 2つの骨が () によりつながる。連結部には () で満たした
 () ができる。

関節の基本的構造



1	凸面	
2	凹面	
3	連結する骨の関節面を薄く滑らかに被う軟骨で通常は 0.5~4 mmの によりなる。関節軟骨は著しく潤滑性に富み骨の摩擦防ぐ。血管・神経を欠くため栄養分は滑液より供給される。	
4	外側の膜	繊維性結合組織の薄膜
5	内側の膜	
6		

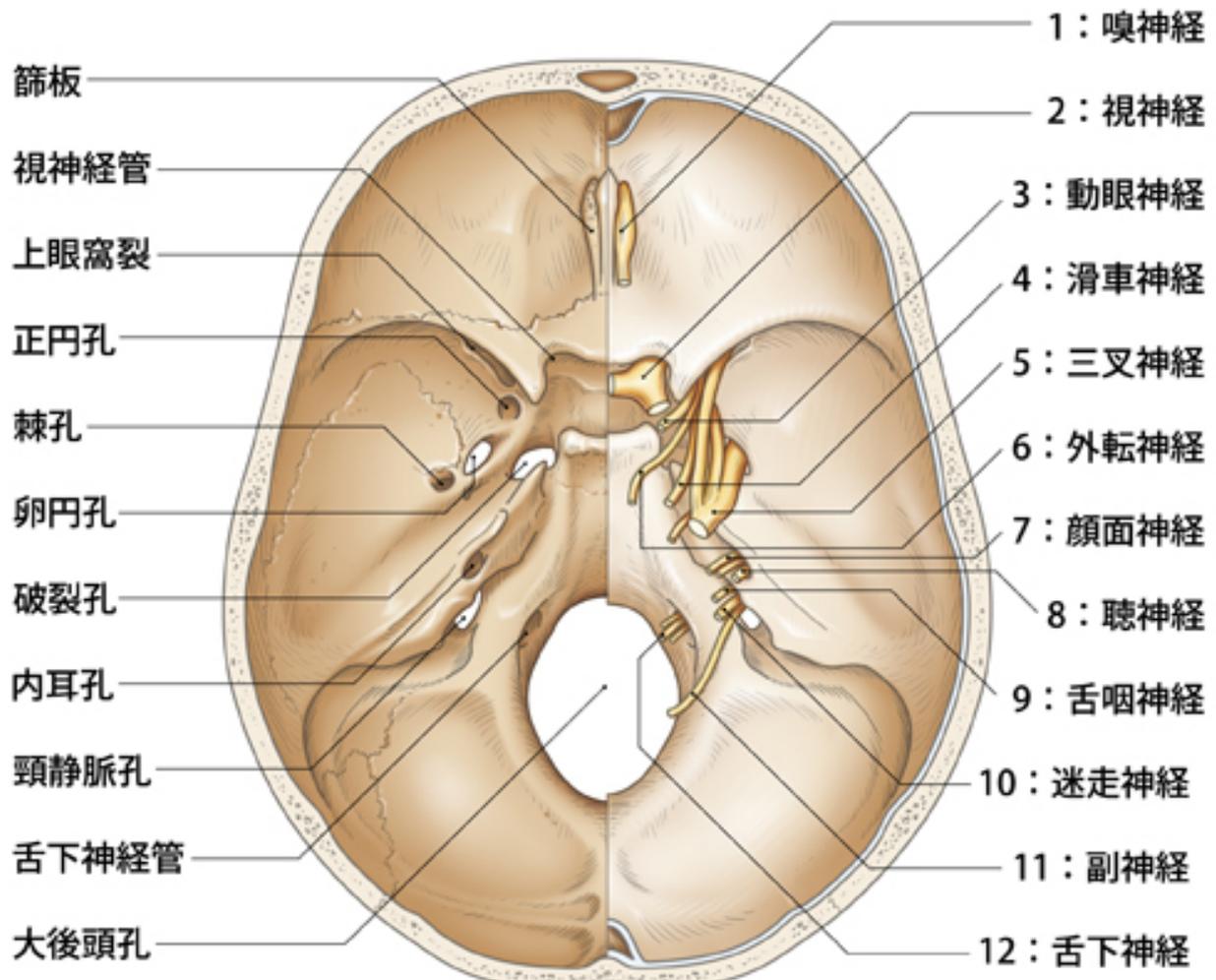
縫合は（ ）の間の結合で、多数の膠原線維束が両骨の結合面を結合する。

代表的な縫合の種類

- （ ）縫合、（ ）縫合、（ ）縫合、（ ）縫合がある。
- （ ）縫合は前頭骨と左右の頭頂骨との間にある縫合
- （ ）縫合は頭頂部で、左右の頭頂骨の間に走る縫合
- （ ）縫合は頭頂骨と後頭骨との間を走る縫合
- （ ）縫合は側頭部において頭頂骨の外側縁と側頭骨の上部との間にできる縫合

解剖学 骨学の記述問題 (はき 17回)

頭蓋骨の孔について P.199 はき 17-16



腹側から背側の順

1	前頭骨	盲孔	上矢状静脈洞への導出静脈
2	篩骨	篩板の孔	嗅神経線維束
3		後篩骨孔	後篩骨動脈、後篩骨静脈、後篩骨神経
4	蝶形骨	視神経管	視神経 (II)、眼動脈
5		上眼窩裂	動眼神経 (III) 滑車神経 (IV) 眼神経 (V) の枝である涙腺神経、前頭神経、鼻毛様体神経 外転神経 (VI) 上眼静脈
6		正円孔	上顎神経 (V2)
7		卵円孔	下顎神経 (V3) 副硬膜枝 小錐体神経
8		棘孔	中硬膜動脈および中硬膜静脈 下顎神経硬膜枝
9		破裂孔	内頸動脈 内頸動脈神経叢
10	側頭骨	内耳孔	顔面神経 (VII) 内耳神経 (VIII) 迷路動脈
11		頸静脈孔 ↑ 後頭骨も関与	下錐体静脈洞 舌咽神経 (IX) 迷走神経 (X) 副神経 (XI) S 状静脈洞 後硬膜動脈 内頸静脈
12	後頭骨	舌下神経管	舌下神経 (XII)
13		大後頭孔	延髄 椎骨動脈 椎骨動脈の髄膜枝 副神経 (XI) の脊髄根

解剖学 骨学の記述問題 (はき 18 回)

正円孔について P. 202 206 はき 18-27

大翼の基部には () が開き、() が通る。
大翼の後縁では () が開き、() が通る。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 19 回)

顎関節について P. 209 210 はき 19-16

顎関節は下顎骨の () が側頭骨の () にはまって関節をなしたものの。関節内には主に () 軟骨でできた () があって、関節包に付着する。関節包は緩く、外側、内側で靭帯によって補強される。

肩甲骨について P. 179 はき 19-17

肩甲骨の () は特に肥厚し、先端は () として上腕骨の上腕骨頭と肩関節をなす。
鳥口突起の基部には () があり、() 神経を通す。
鳥口突起には () が停止し、() と () が起始する。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 20 回)

胸郭上口について P. 178 257 はき 20-15

胸郭は () ・ () ・ () で構成
胸郭上口は () ・ () ・ () で構成される。胸郭上口は頸部と胸部の連絡口であり、() ・ () ・ () ・ () ・ () が通る。

頭蓋骨の名称について P. はき 20-16

1. 視神経管は () 骨にある。
2. 翼突管は () 骨にある。
3. 頸動脈管は () 骨にある。
4. 舌下神経管は () 骨にある。

新生児の頭蓋について P. 198 199 はき 21-16

代表的な泉門

() () () ()

前頭骨と頭頂骨との間にできるのが () で、およそ () 才で閉鎖する。
新生児の頭蓋において最後に閉鎖する。

頭頂骨と後頭骨との間にできるのが () で、生後 () で閉鎖する。

顎関節について P. 209 210 はき 21-17

顎関節は下顎骨の () が側頭骨の () にはまって関節をなしたものの。関節内には主に () 軟骨でできた () があって、関節包に付着する。関節包は緩く、外側、内側で靭帯によって補強される。

仙骨について P. 169 175 はき 21-18

仙椎の各椎体は癒合することで () を失い、その結合部は仙骨前面に4本の () として残る。

仙椎の後面の棘突起は () を、椎間関節は () を形成する。椎孔も癒合しあって () をつくる。() は脊柱管に続く。

仙骨の前面、後面にそれぞれ4対の () ・ () を通じて外に開く。() の下端は () で終わる。() の左右両側には () という盛り上がりができる。

茎状突起、(突起) について P. 182 203 206 はき 22-17

茎状突起を有する骨は () ・ () ・ () である。

1. 頬骨は () ・ () をもつ。

2. 上顎骨は4つの突起をもつ

() ・ () ・ () ・ ()

3. 側頭骨は () ・ () ・ () をもつ。

4. 蝶形骨は () をもつ。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 23 回)

線維性の連結について P. 162 はき 23-16

線維性の連結は 3 種に区別される。

()・()・()がある。

頭蓋骨の数について P. 198、203 はき 23-17

頭蓋骨は () と () に大別される。

() 6 種 8 個の頭蓋骨

有対：側頭骨 2 頭頂骨 2 無対：前頭骨 1 後頭骨 1 篩骨 1 蝶形骨 1

() 9 種 15 個

有対：頬骨 2 下鼻甲介 2 涙骨 2 上顎骨 2 口蓋骨 2 無対：鋤骨 1 下顎骨 1 舌骨 1

解剖学 骨学の記述問題 (はき 24 回)

頸椎について P. 169、172 はき 24-17

1. 生理的 () がある。
2. 椎骨動脈は第 () 頸椎の横突孔を通る。
3. 環椎後頭関節は頭部の () に関与する。174
4. () 靭帯は歯突起前面を覆う。174

関節について P. 169、172 はき 24-18

1. () 関節・() 関節・() 関節・() 関節には関節円板が存在する。
2. 肩関節で関節唇は () に付着する。
3. 腕尺関節は () 関節である。
4. 手関節で () は舟状骨・月状骨・三角骨に接する。

下肢の骨について P. 169、172 はき 24-19

1. () には載距突起がある。
2. () にはヒラメ筋線がある。
3. () には粗線がある。
4. () には恥骨筋線がある。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 25 回)

上肢の骨 (尺骨) について P.180 181 182 はき 25-17

1. 肘頭窩は () にある。
2. 滑車切痕は () にある。
3. 尺骨切痕は () にある。
4. 尺骨神経溝は () にある。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 26 回)

脊柱について P.169~176 はき 26-17

1. 歯突起窩は () にある。
2. 胸椎の連結による弯曲は () である。
4. 岬角は () の前縁にある。

解剖学 骨学の記述問題 (はき 27 回)

後頭蓋窩について P.199

- ・後頭蓋窩は内頭蓋底に強く隆起する () 骨の () によって中頭蓋窩と境される。() 骨の () は後頭蓋窩の外側前方部を構成する。
- ・後頭蓋窩をつくるのは主として () 骨であるが、それに加えて正中前方部では () 体も関与する。
- ・錐体後面には () が開く。その下方で錐体後縁と前縁が縫合する部分に大きな () ができる。
- ・後頭蓋窩の正中部は、トルコ鞍の後方で () 体と () 骨が軟骨結合してできた () になって () に続く。
- ・ () の前外側には、左右1対の () が開く。

孔・管	通るもの
	顔面神経 内耳神経
	舌咽神経 迷走神経 副神経 内頸静脈
	延髄 (脊髄)
	舌下神経

椎骨に関わる靭帯について P. 172 173 174

椎体と椎間円板の前・後面には、それぞれ ()・() が密着し、椎体を縦に連結する。

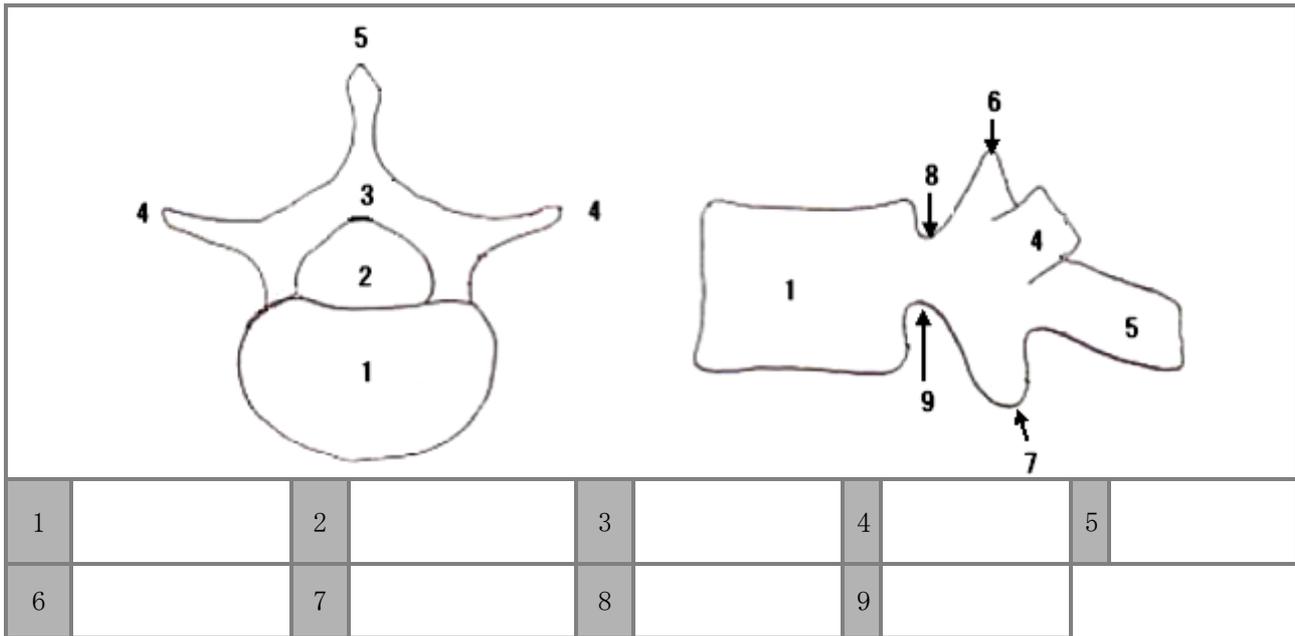
椎弓の間には () が連結する。普通の靭帯は膠原線維の密な束で白っぽいが () は弾性繊維に富み黄色く見える。

そのほか、棘突起間を結ぶ靭帯を ()、棘突起の先端を縦に結ぶ靭帯を () という。

() は頸部では幅が広く厚くなり、() とよばれる。

環椎の椎孔内には () が張っている。この靭帯は齒突起を後面から十字形に交叉しておお 2 つの () と () よりなる。

後頭骨から () が張って、齒突起の先端を支えている。



上肢の骨格について P. 162~

1. 肩甲骨上角は () と () の間にある。P. 180
2. 上腕骨小頭は上腕骨滑車の () にある。P. 181
3. 尺骨頭は尺骨の () にある。P. 181
4. 舟状骨は手根骨の () 列にある。P. 182

はき 1-16 側頭骨に属さないのはどれか。

1. 頸動脈管
2. 正円孔
3. 鼓室
4. 顔面神経管

はき 2-16 頭蓋骨について誤っている組合せはどれか。

1. 蝶形骨 ————— 卵円孔
2. 側頭骨 ————— 頸動脈管
3. 後頭骨 ————— 舌下神経管
4. 下顎骨 ————— 口蓋突起

はき 2-17 関節の部位と種類との組合せで誤っているのはどれか。

1. 仙腸関節 ————— 半関節
2. 腕橈関節 ————— 蝶番関節
3. 下橈尺関節 ————— 車軸関節
4. 肩関節 ————— 球関節

はき 3-16 膜内骨化によって形成される骨はどれか。

1. 前頭骨
2. 上腕骨
3. 肋骨
4. 腸骨

はき 3-17 大坐骨孔について誤っている記述はどれか。

1. 大坐骨切痕と仙結節靭帯とで形成される。
2. 大坐骨切痕は坐骨と腸骨とによって形成される。
3. 梨状筋によって上下の2孔に分けられる。
4. 上殿神経が梨状筋上孔を通る。

はき 3-32 胸腔の形成に関与しないのはどれか。

1. 胸骨
2. 肋骨
3. 横隔膜
4. 胸膜

はき 4-16 内頭蓋底を構成する骨はどれか。

1. 頭頂骨
2. 前頭骨
3. 頬骨
4. 上顎骨

はき 4-17 骨とその部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 仙骨 ——— 岬角
2. 大腿骨 ——— 殿筋粗面
3. 腰椎 ——— 肋骨突起
4. 下顎骨 ——— 下顎窩

はき 4-28 脳神経と通路との組合せで誤っているのはどれか。

1. 視神経 ——— 視神経管
2. 動眼神経 ——— 上眼窩裂
3. 滑車神経 ——— 卵円孔
4. 上顎神経 ——— 正円孔

はき 5-16 最も大きい椎体をもつ椎骨はどれか。

1. 第3頸椎
2. 第7頸椎
3. 第12胸椎
4. 第5腰椎

はき 6-16 関節について誤っている記述はどれか。

1. 肩関節は関節唇を有する。
2. 顎関節は関節円板を有する。
3. 膝関節は関節半月を有する。
4. 下橈尺関節は橈骨輪状靭帯を有する。

はき 6-32 寛骨で体表から触れない部位はどれか。

1. 腸骨窩
2. 腸骨稜
3. 坐骨結節
4. 上前腸骨棘

はき 7-16 胸腔の構成に関与しないのはどれか。

1. 胸椎
2. 胸骨
3. 臓側胸膜
4. 横隔膜

はき 7-17 頸部と胸部との境界線に関与しないのはどれか。

1. 胸骨上縁
2. 鎖骨上縁
3. 肩 峰
4. 第7頸椎椎体

はき 8-16 長骨の構造について正しい記述はどれか。

1. 海綿質は骨幹部にみられる。
2. フォルクマン管は骨の長軸に平行に走行する。
3. ハバース管には血管が走行する。
4. 骨小腔は骨髄で満たされる。

はき 8-17 第3胸椎には関節面がいくつあるか。

1. 4
2. 6
3. 8
4. 10

はき 8-18 正中環軸関節の運動様式で正しいのはどれか。

1. 頭部の回旋
2. 頭部の前屈
3. 頸部の後屈
4. 頸部の側屈

はき 9-32 頸静脈孔を通るのはどれか。

1. 迷走神経
2. 内耳神経
3. 顔面神経
4. 舌下神経

はき 10-16 誤っている記述はどれか。

1. 輪状軟骨は第6頸椎の高さにある。
2. 胸骨角の部位に第3肋骨が付く。
3. 胸郭の下縁を通る水平面には第2-3腰椎間の椎間板がある。
4. ヤコビー線は第4-5腰椎の棘突起間を通る。

はき 10-17 骨について誤っている記述はどれか。

1. 骨端軟骨は硝子軟骨である。
2. 頭頂骨は軟骨内骨化をする。
3. 黄色骨髄は脂肪組織である。
4. 骨膜は密性結合組織である。

はき 10-18 外頭蓋底を構成しない骨はどれか。

1. 前頭骨
2. 側頭骨
3. 後頭骨
4. 蝶形骨

はき 11-18 リスフラン関節の構成に関与しないのはどれか。

1. 楔状骨
2. 舟状骨
3. 立方骨
4. 中足骨

はき 12-16 遠位列手根骨はどれか。

1. 有頭骨
2. 舟状骨
3. 三角骨
4. 月状骨

はき 12-17 ラセン関節はどれか。

1. 腕尺関節
2. 距腿関節
3. 肩関節
4. 仙腸関節

はき 12-18 大坐骨孔を通らないのはどれか。

1. 梨状筋
2. 内閉鎖筋
3. 陰部神経
4. 坐骨神経

はき 13-31 頸静脈孔を通らないのはどれか。

1. 顔面神経
2. 舌咽神経
3. 迷走神経
4. 副神経

はき 14-15 球関節はどれか。

1. 腕橈関節
2. 指節間関節
3. 膝関節
4. 橈骨手根関節

はき 15-18 下顎骨にみられないのはどれか。

1. 下顎角
2. 下顎頸
3. 下顎窩
4. 下顎枝

はき 15-19 胸椎にみられないのはどれか。

1. 前結節
2. 棘突起
3. 関節突起
4. 椎孔

はき 16-17 滑膜性の関節をつくる骨の部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩峰 ————— 上腕骨頭
2. 大菱形骨 ———— 第1中手骨底
3. 寛骨臼 ————— 大転子
4. 外果 ————— 距骨頭

はき 16-18 頭頂骨と縫合をつくらないのはどれか。

1. 前頭骨
2. 側頭骨
3. 蝶形骨
4. 頬骨

はき 17-16 頭蓋の骨とその穴との組合せで誤っているのはどれか。

1. 上顎骨 ————— 眼窩下孔
2. 蝶形骨 ————— 正円孔
3. 側頭骨 ————— 卵円孔
4. 後頭骨 ————— 舌下神経管

はき 18-27 脳神経において正円孔を通るのはどれか。

1. 視神経
2. 眼神経
3. 上顎神経
4. 外転神経

はき 19-16 下顎骨との間で顎関節を形成するのはどれか。

1. 頬骨
2. 上顎骨
3. 蝶形骨
4. 側頭骨

はき 19-17 肩甲骨に関する記述で正しいのはどれか。

1. 関節窩は上角にある。
2. 肩甲切痕を腋窩神経が通る。
3. 肩峰は体表から触れることができる。
4. 烏口突起に大胸筋が停止する。

はき 20-15 胸郭上口を通るのはどれか。

1. 前斜角筋
2. 上大静脈
3. 交感神経幹
4. 副神経

はき 20-16 側頭骨にあるのはどれか。

1. 視神経管
2. 翼突管
3. 頸動脈管
4. 舌下神経管

はき 21-16 新生児の頭蓋において最後に閉鎖するのはどれか。

1. 大泉門
2. 小泉門
3. 前側頭泉門
4. 後側頭泉門

はき 21-17 頭蓋で下顎骨が関節をなすのはどれか。

1. 口蓋骨
2. 上顎骨
3. 側頭骨
4. 蝶形骨

はき 21-18 仙骨と他の椎骨の部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 横線 ———— 椎体
2. 仙骨管 ———— 椎間孔
3. 正中仙骨稜 —— 棘突起
4. 中間仙骨稜 —— 横突起

はき 22-17 頭蓋の骨で茎状突起があるのはどれか。

1. 頬骨
2. 上顎骨
3. 側頭骨
4. 蝶形骨

はき 23-16 線維性の連結はどれか。

1. 釘 植
2. 仙腸関節
3. 恥骨結合
4. 椎間関節

はき 23-17 頭蓋骨で2個あるのはどれか。

1. 篩 骨
2. 鋤 骨
3. 鼻 骨
4. 舌 骨

はき 24-17 頸椎について正しいのはどれか。

1. 生理的後弯がある。
2. 椎骨動脈は第7頸椎の横突孔を通る。
3. 環椎後頭関節は頭部の屈伸に関与する。
4. 環椎横靭帯は歯突起前面を覆う。

はき 24-18 関節について正しいのはどれか。

1. 胸鎖関節には関節円板が存在する。
2. 肩関節で関節唇は上腕骨頭に付着する。
3. 腕尺関節は車軸関節である。
4. 手関節で尺骨は舟状骨に接する。

はき 24-19 下肢の骨について正しいのはどれか。

1. 距骨には載距突起がある。
2. 腓骨にはヒラメ筋線がある。
3. 脛骨には粗線がある。
4. 大腿骨には恥骨筋線がある。

はき 25-17 尺骨にあるのはどれか。

1. 肘頭窩
2. 滑車切痕
3. 尺骨切痕
4. 尺骨神経溝

はき 26-17 脊柱について正しいのはどれか。

1. 歯突起窩は軸椎にある。
2. 胸椎の連結による弯曲は前弯である。
3. 仙骨角は体表から触れる。
4. 岬角は尾椎の前縁にある。

はき 27-17 後頭蓋窩にあるのはどれか。

1. 下垂体窩
2. 棘孔
3. 斜台
4. 正円孔

はき 28-17 椎骨で黄色靭帯が付着するのはどれか。

1. 椎体
2. 椎弓
3. 横突起
4. 棘突起

はき 29-15 上肢の骨格について正しいのはどれか。

1. 肩甲骨上角は外側縁と上縁の間にある。
2. 上腕骨小頭は上腕骨滑車の外側にある。
3. 尺骨頭は尺骨の近位にある。
4. 舟状骨は手根骨の遠位列にある。

